



組み立て説明書 ①

用意するもの

カッターナイフ、はさみ、ピンセット、定規、合成ゴム系接着剤（透明のもの、型紙の余白部分で紙のへらを作り、均一にのばすとよいでしょう。）*オススメはコニシポンドの速乾ボンドGクリアー（ホームセンターなどに売っています）細かいところは、木工用ボンド（速乾）が最適です（木工用ボンドは水を少し加え薄くしてから、メンソウ筆で塗ると確実です）着色用塗料（水溶性アクリル絵の具）など。

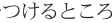
作業説明

1 パーツを切り取り線に沿って切り離します。組み立て説明書③のパーツリストを参考に切る線や折り目などを確認してください。

*パーツのカット面（紙の断面）は組み立て前に水溶性アクリル絵の具などで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。

※美しく仕上げるためのペーパークラフト・テクニックはホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。


2 ----- 山折り、- - - - - 谷折りの線に沿って折り目をつけます山折りの場合は オモテ、谷折りの場合はウラからカッターナイフや鉄筆などで軽くキズをつけておくとキレイに折れます。ただし、例外もありますので下の説明もあわせて読んでください。折るところはしっかり折るのがポイントです。のりしろを切り落とさないように気をつけましょう。

3 曲面（アール）をつける場所は、円柱状のものを芯にして指で十分にしごくと、きれいなアールがつきます。図の  がアールをつけるところです。

接着前に仮組みをして、アールの付き具合を確認しましょう。

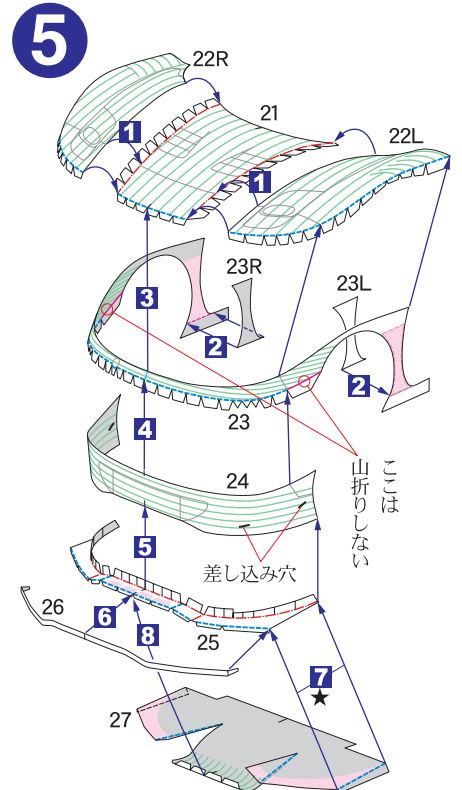
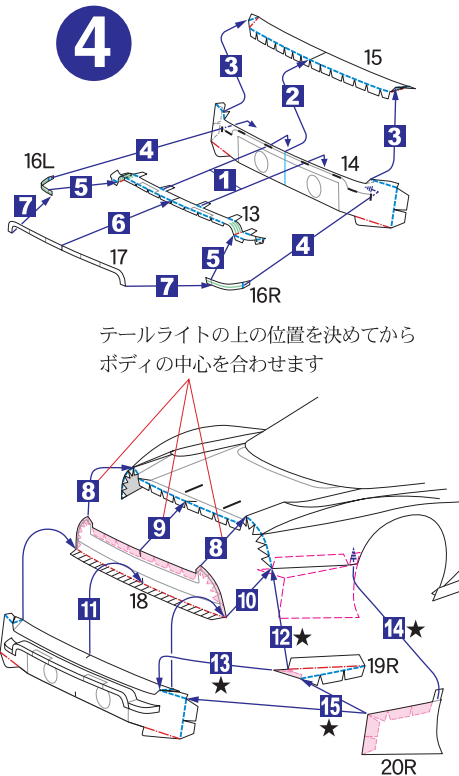
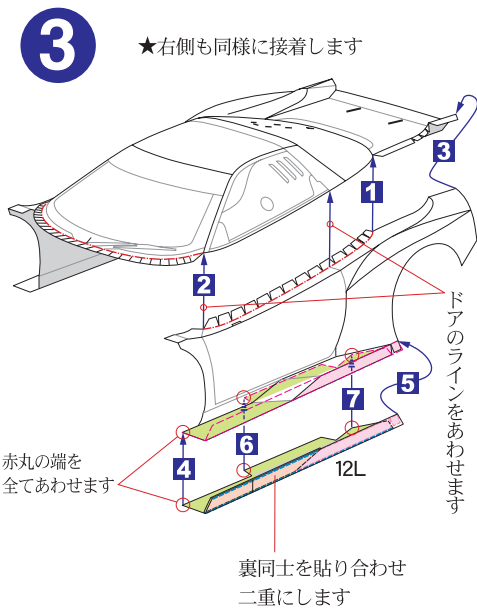
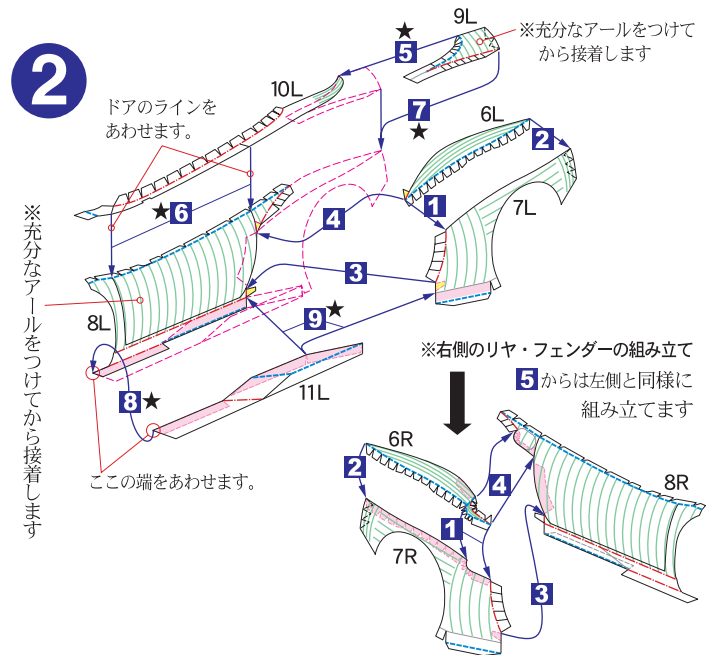
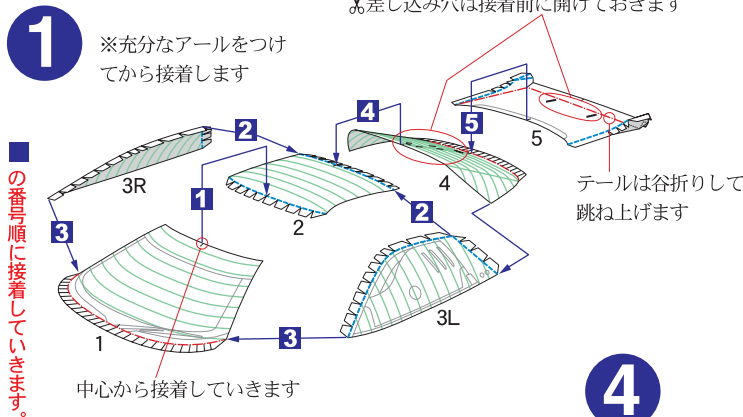
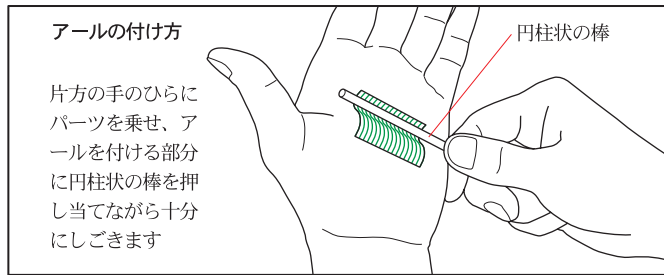
4 完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■の番号順に接着してください。

※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。

図の  のところは紙の裏側を表しています。

車がゆがまないように、左右対称のパーツは中心のしるしを合わせながら接着してください。パーツNo.の Lは左側、Rは右側を表しています。

★印は、反対側も同様に作業を行ってください。





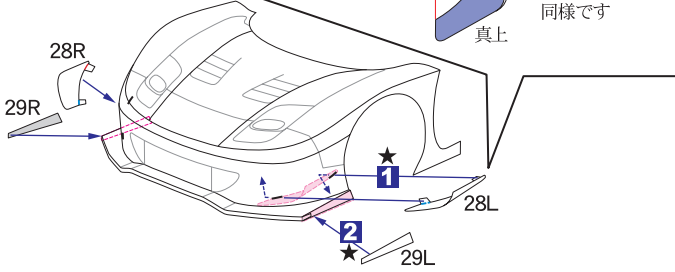
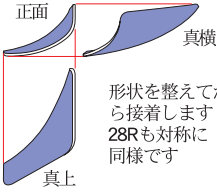
組み立て説明書 ②

6

パーツ28L/28Rの説明

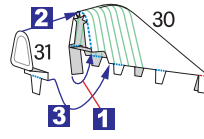
両面を貼りあわせてから下の三面視図を参考にアールをつけます

28Lの三面視図



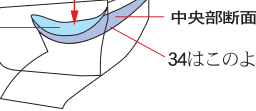
7

4 ウィングは (エッジから2~3mmのところだけ) 上下を貼り合わせ、左右の端はより強いアールを付けて持ち上げます



リヤウイング原寸断面図

左右端断面

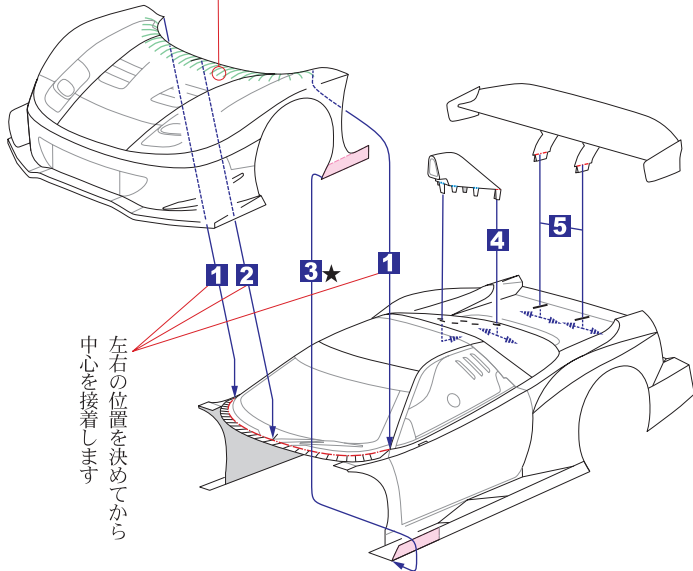


この山折りは両端のアタリ線を目安に裏からキズをれます

34はこのようにアールをつけます

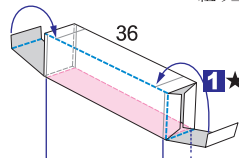
8

ボンネットをふくらませる感じでなめらかにアールを付けます



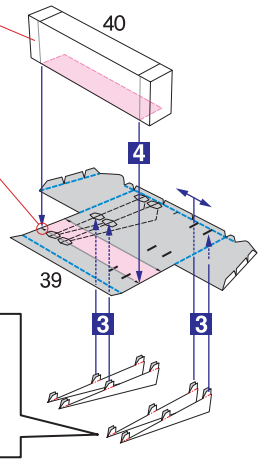
9

組み立てかたはパーツ36と同様です



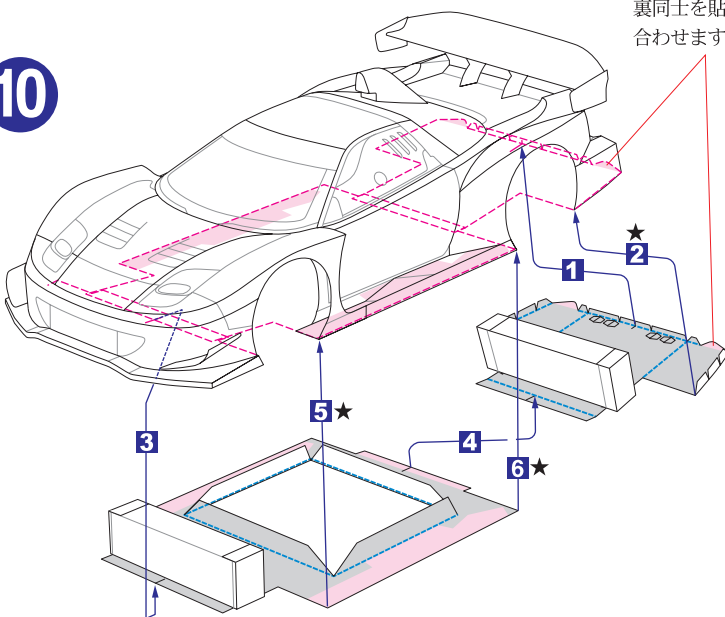
垂直に立てます

印刷面の線にあわせて位置を決め、裏に接着



10

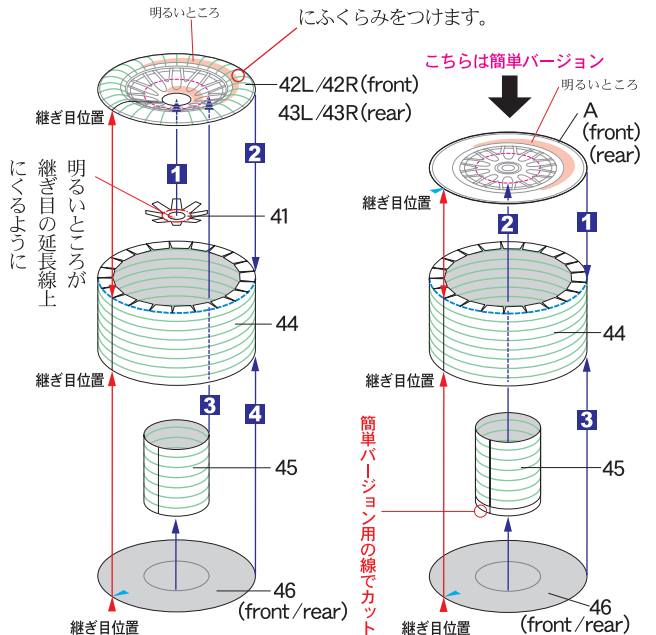
裏同士を貼り合わせます



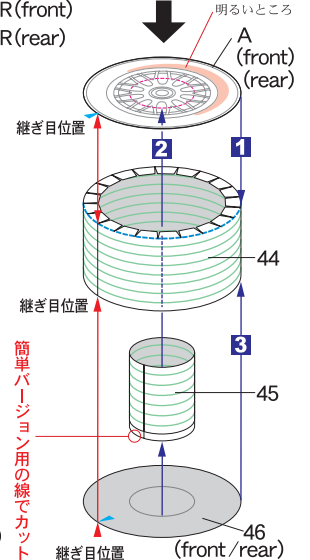
11

※タイヤはそれぞれの継ぎ目を合わせて接着すると、タイヤの上下が決まります。タイヤサイド面42/43とトレッド面44のアールをしっかりつけてから接着しましょう。
※44の折り線をカッチリ折ることがきれいに仕上げるコツです。

タイヤサイドは、まず、すり鉢状に接着し、完全に乾いてから指で丁寧にふくらみをつけます。



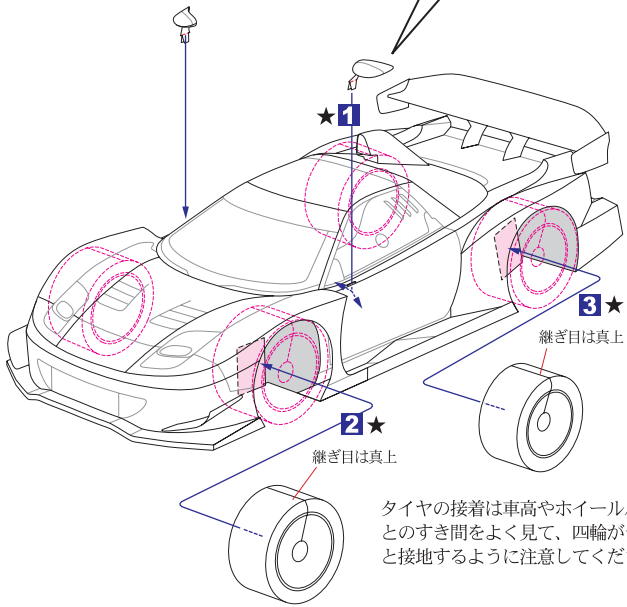
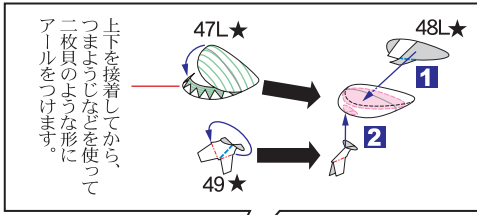
こちらは簡単バージョン





組み立て説明書 ③

12



PARTS LIST

— 切る線 — 山折り — 谷折り
 のりしろ 裏にのり Lは左側、Rは右側を表しています。

